

1

(1)	208	(2)	328	(3)	30	(4)	21
(5)	53	(6)	116	(7)	11 (か月)	(8)	97 (L)
(9)	8	(10)	(午前) 10 (時) 40 (分)	(11)	20 (kg)	(12)	19 (本)

2

(1)	15	(2)	11 か所	(3)	28
-----	----	-----	-------	-----	----

3

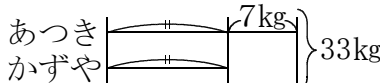
(1)	午前 8 時 30 分	(2)	9 本目
-----	-------------	-----	------

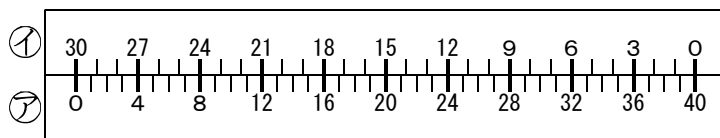
4

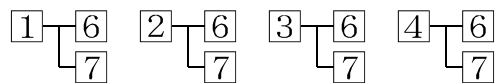
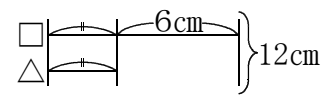
(1)	8 通り	(2)	9 通り
-----	------	-----	------

5

(1)	44 cm	(2)	6 (cm)	(3)	3 (cm)
-----	-------	-----	--------	-----	--------

- 1 (4) $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 =$
 $= (1 + 6) + (2 + 5) + (3 + 4) = 7 \times 3 = \underline{21}$
- (5) $59 + \boxed{} = 112$
 $\boxed{} = 112 - 59 = \underline{53}$
- (6) $\boxed{} - 18 = 98$
 $\boxed{} = 98 + 18 = \underline{116}$
- (7) 1年 = 12か月
 $12 + 3 - 4 = \underline{11}$ (か月)
- (8) $10\text{ dL} = 1\text{ L}$ $1000\text{ dL} = 100\text{ L}$
 $100 - 3 = \underline{97}$ (L)
- (9) $24 = 12 + 12$ $20 - 12 = \underline{8}$
- (10) 正午 = 午前12時 = 午前11時60分
午前11時60分 - 1時間20分
= 午前 10時40分
- (11) 右の図から考える。
 $33 - 7 = 26$ (kg) あつき 
2つぶんが、26 kg。
 $26 = 13 + 13$ より、かずや君は13 kg。
あつき君は、 $13 + 7 = \underline{20}$ (kg)
- (12) Bの大きな木がなければ、小さな木は大きな木のちょうど2倍の本数で、 $5 + 1 = 6$ (本) 差。
それは、大6本で小12本のとき。
Bの1本も合わせて、 $6 + 12 + 1 = \underline{19}$ (本)

- 2 (1) 20はちょうど0と40のまん中。
30と0のまん中は、15。
- (2) 
数は見やすいように、ふつうの向きで書いてある。
上の図の太線部分で、上下にならんでいる。これを数えて、11か所。㊦が0, 4, 8, ..., 40と、4の0倍から10倍なので11か所、と考えてもよい。
- (3) (2)の図から、㊦の28と㊧の9のとき。
- (別解) ㊦の0と㊧の30, ㊦の4と㊧の27, ...と1つ右にずれるごとに、合計は1ずつふえる。
 $37 - 30 = 7$ より、右に7つずれると考えて、㊦は4の7倍である28。

- 3 (1) $30 \times (6 - 1) = 150$ (分) → 2時間30分
午前6時0分 + 2時間30分 = 午前8時30分
- (2) 午前10時 - 午前6時 = 4時間 = 240分
 $240 = 30 \times 8$ より、 $1 + 8 = \underline{9}$ (本目)
- (別解) 午前6時が1本目、午前7時が3本目、...なので、午前8時が5本目、午前9時が7本目、午前10時が9本目。
- 4 (1) 2番目に小さいカードの数が5になるのは、1番目が1か2か3か4、3番目が6か7。
より、8通り。
- (2) $1 + 2 = 3$, $1 + 3 = 4$,
 $1 + 4 = 2 + 3 = 5$, $1 + 5 = 2 + 4 = 6$,
 $1 + 6 = 2 + 5 = 3 + 4 = 7$
よって、^{さい}最大が3か4...1通り
最大が5か6...2通り、最大が7...3通り
 $1 + 1 + 2 + 2 + 3 = \underline{9}$ (通り)
- 5 (1) $(8 + 14) \times 2 = \underline{44}$ (cm)
- (2) 長方形㊦のたての長さを□cmとすると、長方形㊦のたてと横の長さの合計(□ + 14)cmは、長方形㊧のたてと横の長さの合計(○ + 8)cmと同じ。
よって○は、
 $14 - 8 = \underline{6}$ (cm)
- (3) $6 + 14 = 20$ (cm) ... 正方形の1辺の長さ
 $\triangle + \square + 8 = 20$ (cm) より、 $\triangle + \square$ は
 $20 - 8 = 12$ (cm) となる。また、長方形㊦のたてと横の長さの合計(20 + △)cmと、長方形㊧のたてと横の長さの合計(□ + 14)cmが同じ。
 $20 + \triangle = \square + 14$ より、□は△よりも
 $20 - 14 = 6$ (cm) 長い。
よって、右の図から、△は 
 $12 - 6 = 6$ (cm),
 $6 = 3 + 3$ より、3 cm。

(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10